



## ホーホーぼたる来い

ぼたる飛び交う中地区を目指す運動の会 会長 森田 弘

「ホーホーぼたる来い」今年もぼたるが飛び交う季節になりました。今年初めてビオトープ以外の自然へ中小児童・学校・PTA・ぼたる飛び交う運動の会ボランティアの皆様・農地水環境保全向上対策の皆様と放流しました。2月10日巴波川の清掃、カワナ、100匹のぼたるの幼虫を放流しました。2月16日河原田神社東側堀へ100匹のぼたるの幼虫を放流しました。これは下初田にある生駒神社東側付近から湧き水が河原田神社東側の堀へ流れるため、澄んだきれいな水が冬でも涸れないことが、農地・水・環境保全向上対策の水質調査で分かりカワナも生息していたからです。2月18日1000匹のぼたるの幼虫を放流しました。

中地区の大地に幻想的なぼたるの光が放たれることを皆で祈っています。

今後、農地・水・環境保全向上対策の皆様の協力を得て中小児童の夢である巴波川に自然環境のバロメーターであるぼたるを甦らせ、自然環境の大切さを訴えていきたいと思います。御協力よろしくお願いします。

## 「ぼたる飛び交う中地区を目指す運動の会」表彰

中小学校小学校長 青木幸子

平成13年度に小山市より「田んぼの学校」指定を受けて田んぼの活動が始まりました。その少し前から学校では「総合的な学習」が始まり、自分達で見つけた課題を自分達で調べ学んでいく学習がスタートしました。

「なぜ巴波川にぼたる橋という名前の橋があるのだろうか？」という疑問が出て「ぼたる橋の由来」についてみんなで研究しようと、この運動が始まりました。調査をしていくうちに、昔は中地区にはたくさんのぼたるが飛んでいたことが分かり、巴波川にぼたるを甦らせようと、当時の自治会長を中心とした「ぼたる飛び交う中地区を目指す運動の会」が発足し、運動の会のボランティア・PTA・教職員の皆様で知恵を出し合っってビオトープを作り、今日までぼたるを飛ばす努力をしてきました。

昨年11月、長年の活動が認められ、栃木県教育委員会から「学校支援ボランティア」の感謝状をいただきました。また、1月には「田んぼの学校づくり実践校」として小山市教育委員会から表彰されました。

皆様のお蔭です。これからもよろしくお願いします。

## 地域に広がる活動

～ 巴波川に…・下河原田に… ～



ぼたる飛び交う中地区を目指す運動の会の活動は、当初の中小学校校庭内のビオトープでの活動から、ぼたるが舞っていた巴波川へのカワナ放流・理科室のミニビオトープへと、徐々に視野を広めてきましたが、今年は下河原田の活動組織「ぼたるの里」が新しく結成されて過日、本会からカワナと幼虫をおすそ分けして双方の会員と一緒に放流しました。

同じ目的を持った仲間同志です。お互いに協力し合いながら中地区にぼたるが飛び交う夢の実現を願っています。

## 下河原田 「ぼたるの里」

## 巴波川 「幼虫放流・清掃」

### 中小学校の取り組みに感謝！

下河原田活動組織「ぼたるの里」 代表 玉野由蔵

私達は農地・水・環境保全向上活動で地域の環境改善に取り組んでいるグループです。去年の7月と10月に水辺の生物調査を実施しました。その時、堀の底にカワナが生息している事を確認しました。「もしかするとぼたるが生息出来るかもしれない。」淡い期待を胸に、ぼたるを飛ばす取り組みを始めました。

そんな折、2月16日に中小学校のお子さん達にカワナとぼたるの幼虫を放流して頂きました。場所は下河原田神社東側の農業用排水堀です。その頃は湧き水を源流とした水が少ししか流れていませんでしたが、今は田んぼから



—下河原田でのカワナ・幼虫放流—

流れ込んだ水がたくさん流れています。その流れに負けずにこのホタル達が6月頃に堀の周りを飛び交ってくれることを夢見ています。

今後、より一層の交流を宜しくをお願いします。



—児童と下河原田の方々と一緒に記念写真—

### 6年

私はぼたるを戻す活動をしてきました。カワナ捕りは歩いて川まで行きました。流れが速く、とても大変でした。

けれどぼたるのためにとがんばってカワナ捕りをしました。巴波川の清掃ではたくさんのゴミを拾いました。



—巴波川での幼虫放流—

### 6年

はじめて巴波川にぼたるの幼虫を放流しました。大きく成長していくのを早く見たいです。ゴミがたくさんあったのでぼたるがすみにくいと思い、清掃を一生けん命がんばりました。いつか昔のようにキラキラときれいに光るぼたるたちを見たいです。

### 6年

私は自分の手でぼたるのミニビオトープを作りぼたるを育ててきました。ぼたるの実行委員なのでぼたるの気持ちになってどのように育たらよいかをたくさん調べてこの中地区にきれいなぼたるの光を見せてほしいです。

## えのき祭に向けて ～ 田植え 行われる ～

5月7日 中小学校の田んぼで田植えが行われました。はじめて自分の手で苗を植える1年生も上級生に植え方を教わりながら上手に植えました。

大勢で植えたので瞬く間に田んぼは稲の苗で埋め尽くされました。今は日差しを受けて株が太く緑豊かに育ってきています。秋に収穫したお米は「えのき祭」で児童の皆さんによりカレーライスが作られ、ボランティアの皆さんに振舞われることになっています。秋のえのき祭が楽しみです。

中小学校の田んぼは校門の近くにあって毎日成長の様子を観ることが出来ます。児童の皆さんは時々前と比べて苗がどのように育っていくのか意識して観察すると良いですね。



## 手洗い・足洗い場設置

ほたるや田んぼの活動のための足洗い場が田んぼの近くに出来ました。蛇口は「手洗い用」3箇所「足洗い用」が2箇所あり、なかなか立派なものです。

今までは田植えの後は汚れた手足や作業衣の始末に時間がかかっていましたが大勢の児童達が能率的に手足を洗うことが出来て次の授業に差し支えなくなりました。



学校には児童のために様々な施設が作られています。

## ほたる一口メモ



世界には約2,000種類、日本では約40種類のほたるがいますが其のうち発光するのはゲンジ・ヘイケ・ヒメホタルなどわずかです。ツチボタルのように飛ばないほたるもいます。

なぜ光るの? = 2つの仮説 =

- ・繁殖機能…光の信号でオスとメスの出会いのため、自分の存在を示すために光る。
- ・防御機能…攻撃能力のないホタルは、外敵に「食べるとまずい」と光って警告することで身を守る。

### ほたる飼育ボランティアさん募集します!

水槽・カワナ・幼虫その他、会で用意します。希望の方は御連絡ください。

連絡先 中小学校 … 38-0649

### 「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」を支える方々

会長 森田 弘

副会長 齊藤 守 ・ 青木 幸子  
岸 忠男 ・ 古口 忠男

ボランティア <順不同>

岸 康孝	・ 小川 明	・ 新井 幸男
小 薯米作	・ 古口 昌稔	・ 田波 耕太郎
増 田 博利	・ 青木 康	・ 安良岡 博
神 山 芳典	・ 熊倉 弘	・ 松本 昭二
神 山 宜久	・ 安良岡 武	・ 小川 平八
小 川 和之	・ 小林 俊雄	・ 渡部 康博
青 木 盛治	・ 速見 政孝	・ 松沼 威司
青 木 秀夫	・ 島田 和夫	・ 小川 好司
早乙女 進介	・ 藤野 貞和	・ 見目 仁司
神 山 和男	・ 小倉 省吾	・ 玉野 由蔵
田 波 和夫	・ 坂本 秀男	・ 須賀 隆治
松 本 和己	・ 小林 喜代治	・ 安良岡 完治
黒 須 孝次	・ 松沼 富雄	・ 山野井 幸男
青 木 新市	・ 柏崎 敏弘	・ 大出 昌男
諏 訪 信栄	・ 神山 節子	・ 田中 佐一
諏 訪 忠勝士	・ 松井 正弘	・ 松本 和己
栃 木 久雄	・ 浮田 雅子	・ 木村 優子
松 沼 由美	・ 早乙女 洋子	・ 仲木 照美
田 中 房雄	・ 黒 須 かな子	・ 須賀 幸江
鈴 木 雅彦		

事務局 奥村 安 ・ 田澤 均

## ほたるを観る会

☆ 6月5日(金)

☆ 6月6日(土)

式典 14:00 ~ 15:00

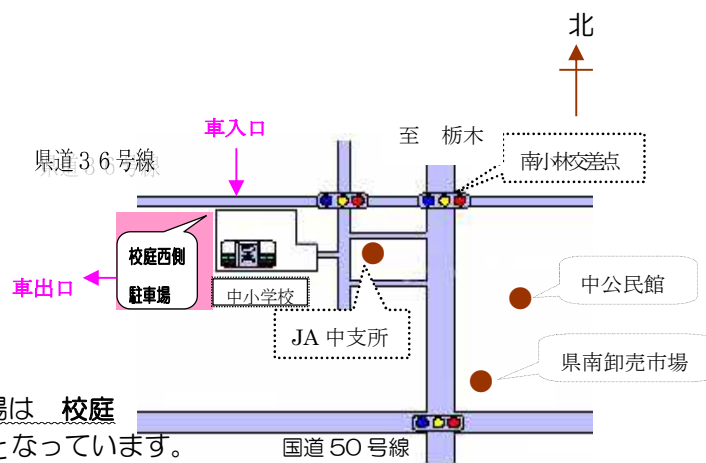
観る会

イベント 18:00 ~ 19:30

19:30 ~ 21:00

観る会 19:40 ~ 21:00

皆さんお誘い合わせて観に来てください。



※ 駐車場は 校庭のみとなっています。

入口 (北側県道から)

- ・「観る会」のため午後7時~9時の間はなるべく車の出入りはしないようご協力ください。

- ・車は、西向き <ビオトープを背にして> 駐車する。

【ほたるは、明るさを嫌います。】

出口 (駐車場西側から)

夜店…前 PTA 役員・中地区育成会の方々・道の駅「美田の里」の方々の御協力により



< アイスクリーム・フランクフルト・焼きそば・稲荷寿司  
おにぎり・芋フライ > … お楽しみに !

= 編集後記 =

「うずまのほたる」発行は今回で第13号を数えることになりました。今年のほたるを観る会は新しいイベントもあります。ほたるの会の活動を盛り上げていけるように、これからも頑張っていこうと思います。

— うずまのほたる — 広報班

神山 芳典・神山 宜久・田波耕太郎・田中 佐一・松沼 由美  
早乙女洋子・仲木 照美・黒須かな子・須賀 幸江・田中 國雄  
奥村 安・田澤 均